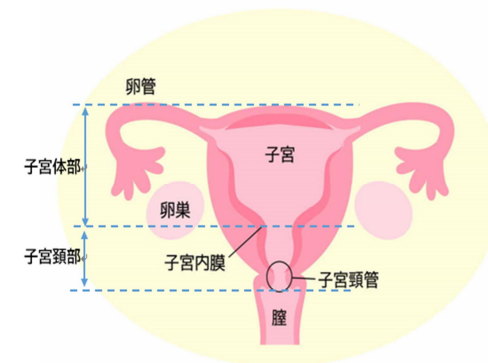


# 子宮がん検診をこれから受ける方・受けた方へ

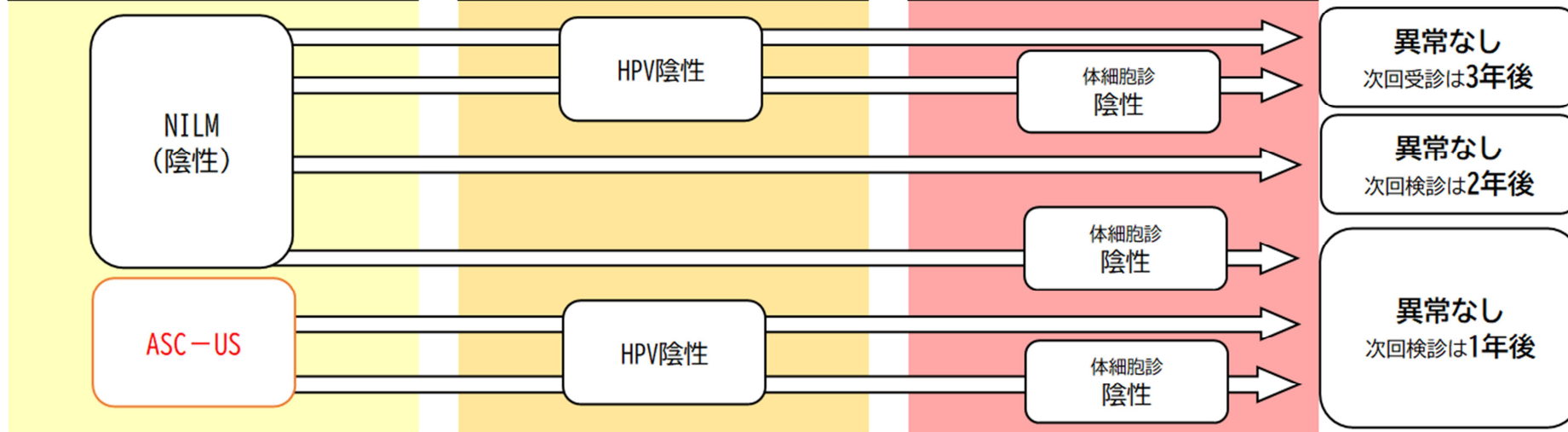
子宮がんは女性のがんの中でもかかる人が多く、特に30～50歳代で多いがんです。  
 松江市では島根県の指針に基づき、「細胞診」と「HPV検査」を併用し、より正確な診断を行っています。  
 早期発見・治療で大切な命を守るために、定期的に受診してください。  
 ※月経(生理)中は避けて検査を受けてください



**子宮頸部細胞診結果**  
 対象者：20歳以上の人  
 子宮の入り口（子宮頸部）を先にブラシのついた専用器具を使って細胞を取り、異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査。

**HPV（ヒロパピローマウイルス）検査**  
 対象者：25歳以上の人  
 子宮頸部の細胞を取り、子宮頸がんを引き起こすウイルスの有無を調べる検査。

**子宮体部細胞診検査**  
 対象者：医師が必要と判断した人  
 子宮体部（子宮の奥）にナイル子宮内膜の粘膜から細胞を取り、異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査。



**上記以外の方（異常あり）**

- 定期検査が必要です
- 精密検査が必要です
- 再検査が必要です
- がん以外の疾患の治療が必要です

検査・治療のため、婦人科を受診してください。 次回の松江市子宮がん検診は1年後です

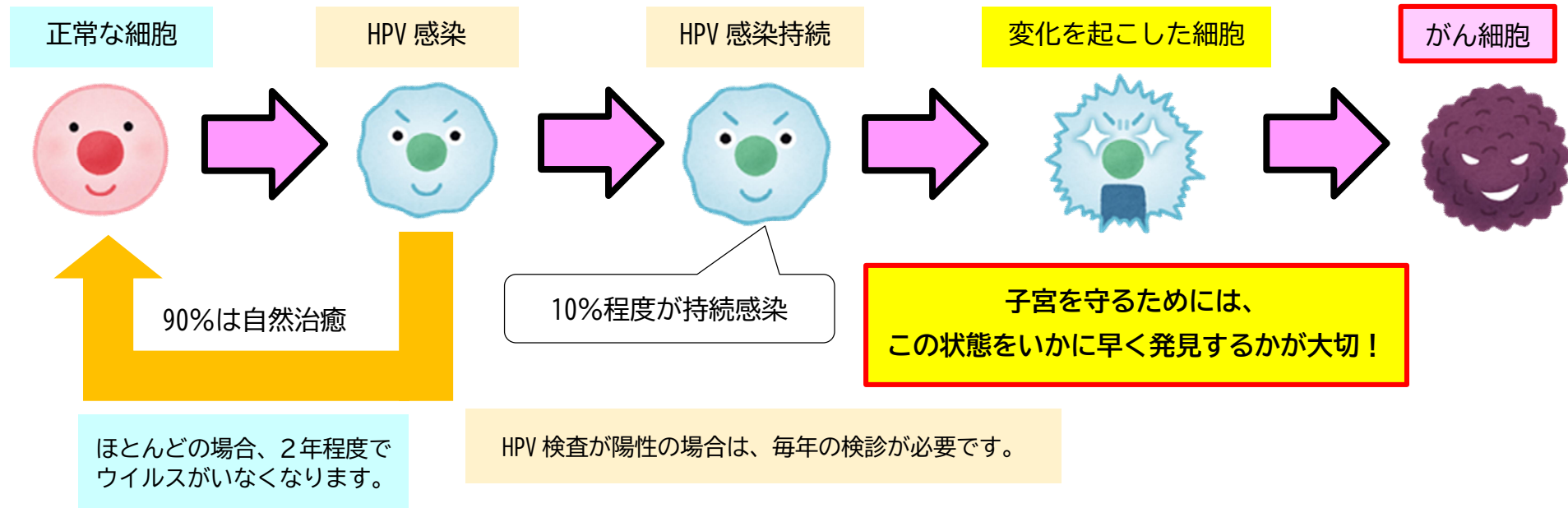
※子宮頸部細胞診の結果でASC-USの場合、マイナポータルでの表示される結果と異なる場合があります

自覚症状があれば、検診を待たずに、医療機関を受診しましょう。

国の指針では子宮がん検診は2年に1回となっていますが、松江市では島根県の指針に基づいて判定をしており、**検診結果によって次回の検診が1～3年後**となります。

# 子宮頸がんの原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)

- ★HPV 検査はウイルスに感染しているかどうか、以前感染していたウイルスがいなくなっているかどうか、を確認する検査です。
- ★HPV 検査が陽性でも、子宮がん検診を毎年受けていれば、早期発見できます。



## 《ご確認ください》

- 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
  - ・がんではないのに「要精密検査」と判定される場合（偽陽性）や、がんがあるのに見つけることができない場合（偽陰性）があります。
  - ・検査によって、出血が起こることがあります。
- 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。